

幼児から大人まで！2日間で約3万人が来場＆民俗学研究所特別展同時開催

「成城学園文化祭 2018」開催

ワンキャンパスならではの！学園の幼稚園～大学が同日に開催

日時:2018年11月2日(金)、3日(土)

場所:成城学園キャンパス(東京都世田谷区)

学校法人成城学園(東京都世田谷区 理事長:渡 文明)は、2018年度の成城学園文化祭を11月2日(金)、3日(土)に、成城学園キャンパス(東京都世田谷区)にて開催いたします。成城学園の文化祭は、幼稚園から大学・大学院までがワンキャンパスにある総合学園の象徴として、全学園で同日に開催しています。また、毎年文化祭にあわせて、成城大学民俗学研究所では、一般の方々にも来ていただけるように、無料の特別展を開催しておりますが、成年の本年は、犬と、そのライバルとして引き合いに出されることも多い猿の郷土玩具を取り上げ、郷土玩具展を開催いたします。



「成城学園文化祭」は、幼稚園・初等学校・中学校高等学校・大学の各学校の文化祭実行委員会が中心となり、それぞれ個性あふれるテーマを掲げて行われる展示・催しに加えて、成城商店街から複数の出店をいただくなど、地域社会との交流を深める企画が多数用意されています。また、父母の会(中高等学校)《バザー》、同窓会《いも煮会》、なども積極的に参加する、成城学園と街全体で形作る文化祭です。毎年2日間で延べ約3万人の方々が入場され、学生、教職員、OB・OG、成城商店街、地域住民の方々、一般のお客様が一同に集い、学園に関わる方々が広く連携を図る 場となっています。

	11月2日(金)	11月3日(土)	テーマ
幼稚園	10:00 ~ 15:00	10:00 ~ 15:00	れいんぼーのもり
初等学校	12:30 ~ 15:00 (非公開)	9:00 ~ 15:00	SEIJO DREAM EXPRESS ~次の世代へむかって~
中学校高等学校	10:00 ~ 16:00	9:30 ~ 15:30	成城満喫
大学	10:00 ~ 17:00	10:00 ~ 17:00	Harmony
(外模擬は 19:00、中後夜祭は 19:30 まで)			

■内容

園児の製作物展示や、児童の演劇・太鼓・御輿・すもう大会、中高生によるゲームコーナー、各部活動の公演や展示、大学生による模擬店や展示発表のほか、保護者によるお休み処、同窓生による芋煮、成城商店街からの出店など、盛り沢山の内容で行います。





学校法人

成城学園

【成城学園文化祭 2018 テーマ】

成城学園の各園・各校より、それぞれのテーマ&メッセージをご紹介します！

【幼稚園】テーマ：「れいんぼーのもり」

園児 119名の表現溢れる作品が園舎内いっばいに展示されます。園児の作品を目の前にしたら、来場される皆様はきっと作品のとりこになることでしょう。「何時間でも眺めていたい…」そんな気持ちにさせてくれます。

今年の幼稚園テーマは『れいんぼーのもり』。年長組39名の園児が話し合っ決めてきました。「文化祭の時には幼稚園をどんな場所にしたい?」「お客様が幼稚園に行きたい!と思うのはどんな場所だろう?」と担任が園児に投げると、閃きで瞬時に発言する子や友達の発言を称賛する子がいました。30~40個の候補が出る中、『れいんぼーのもり』が選ばれました。「『れいんぼー』がいいよね!」互いに顔を見合わせて、決まったテーマを互いに喜び合う姿がありました。七色に明るく光り輝く『れいんぼー』が、広く広がる『もり』に大きくかかる情景を想像するように、園児達は希望と期待をもって本日を迎えました。園児達のキラッと光る作品に、心を奪われること間違いなしです!

【初等学校】テーマ：「SEIJO DREAM EXPRESS ~次の世代へむかって~」

初等学校の新校舎建て替えのため、仮校舎での2度目の文化祭を迎えようとしています。昨年、学園創立100周年を迎え、今年は次の100年に向けての第一歩となりました。今年の文化祭は、『SEIJO DREAM EXPRESS ~次の世代へむかって~』と題し、次の100年に向け子どもたちの夢を乗せて発車します。今まで築いてきた伝統を大切に、新たな試みにチャレンジして、例年の文化祭と同様、盛大に楽しく開催したいと思います。

今年も、11月2日の「劇の会」から初等学校の文化祭は幕を開けます。今回で「劇の会」も第206回を数え、3年生から6年生までの各学年1クラス、計4クラスが、それぞれ力を合わせて上演します。

11月3日は今年で50回目となる“子どものまつり広場”が開催され、オープニングから子どもたちが司会・進行を務めます。そして、2年生の幕開き太鼓をきっかけに「ワッショイ、ワッショイ!」の掛け声のもと、1年生を初めとしたそれぞれのクラスによるオリジナル御輿が登場します。その後、校内の各所で、クラスや学年による作品展、クラスごとにアイデアを出し合い準備したイベント、映像展・特研文化部展・美術展などが行われます。また、ミュージックホールや体育館では、これまでの練習の成果を披露する各種発表会が行われます。さらに、本部企画の『すもう大会』と『カラオケ大会』を今年も行います。また、『木工コーナー』、『お休み処』なども保護者の方々のご協力により行われます。子どもたちの笑顔がはじける初等学校の文化祭に、是非お越しください。

【中学校高等学校】テーマ：「成城満喫」

今年度は体育館脇の宣伝パネル、中高単独で発行した校内マップなど、新たな取り組みを多く導入しています。来場者の方々には、成城のことをもっと知ってもらいたい、在校生のみんなは仲間とともに文化祭を作り上げ、心に残る文化祭にしてほしい。そういう一心で私たちは活動してきました。「今年の文化祭はいつもとは違う!」と新鮮に感じ、楽しんでもらえたら嬉しいです。校内の装飾にも、今までにないことやこだわりが隠れているので、ぜひ探してみてください。成城生一人一人の個性が結集する年に一度のお祭りで、来場者の方々も私たちも一緒になって成城を満喫しよう!

【大学】テーマ：「Harmony」

「Harmony」は、調和を意味し、全ての個性が調和することにより、壮大なものが完成します。大学祭の運営は大学祭実行委員会をはじめ、模擬店や展示、発表を行う各団体、地域の方々、学園関係者の方々など多くの方々によるお力添えのおかげで、大学祭の調和を創り出します。多くの思いが調和された文化の祭典を思う存分お楽しみください。

【成城学園文化祭 2018】 毎年恒例の特別展も同時開催します！

□民俗学研究所特別展 干支の郷土玩具シリーズ<2>
犬・猿—「犬猿の仲」とはいうものの!?—

◇場 所：民俗学研究所展示ホール（大学4号館3階）

◇期 間：2018年11月2日～3日 11月5日～30日

◇時 間：午前10時～午後4時（土曜日は正午まで）

<お問い合わせ先>成城大学民俗学研究所 03-3482-9097



成城大学民俗学研究所では、一般の方々にも来ていただけるように、毎年文化祭にあわせて、無料の特別展を開催しております。

本研究所は、日本民俗学の創始者である柳田國男先生から寄贈された蔵書「柳田文庫」を基盤として創設された民俗学の専門研究機関です。文献資料のみならず郷土玩具のコレクションもあり、戌年の本年は、犬と、そのライバルとして引き合いに出されることも多い猿の郷土玩具を取り上げ、郷土玩具展を開催いたします。

昔話では、犬は人の味方をする事が多く、猿は敵役に回る事の方が多くあり、「しっぺい太郎」の昔話では霊犬の力によって猿の化け物が退治されます。そんなところから犬猿の仲という諺が浸透していったのでしょう。しかし、民間信仰の世界に目を向けてみると、犬と猿は、とても良く似た性格を持っています。猿は山王様の使いや神様の道案内をする猿田彦など、神様のお使いとしての信仰も篤く、悪いものが「去る」といった言葉遊びとも相まって、魔除けの力を持つとされます。一方、犬も山犬がオオカミ（大神）と呼ばれるように、悪いものを噛み殺してくれる力を持った動物として信仰されています。

また、犬は多産であることから、あやかっ子に恵まれるようにと子授けの信仰もあります。猿もまた同様の子授けの信仰を持っています。「犬張子」や「さるぼぼ」といったよく知られる郷土玩具は、子供の健やかな成長を願って、お守りとして贈られたりします。

本展示を通して、郷土玩具に込められた想いや、その背景にある信仰を感じていただければ幸いです。是非ご来観ください。